

## 浅草地区における持続可能な観光地づくりについて

### 1 目的

本区が将来にわたり持続可能な観光地であり続けるためには、観光客のみならず地域住民や事業者もが満足できるまちづくりを進めることが重要であり、そのためには、地域住民や事業者と協働して、地域の課題解決に向けた具体的で踏み込んだ対策を実施する必要がある。令和6年度は、本区の中でも混雑が顕著な浅草地区をモデルケースとして対策を検討・実施し、その成果等を踏まえ他地区への展開を図る。

### 2 「浅草地区持続可能な観光地づくり協議会」の開催

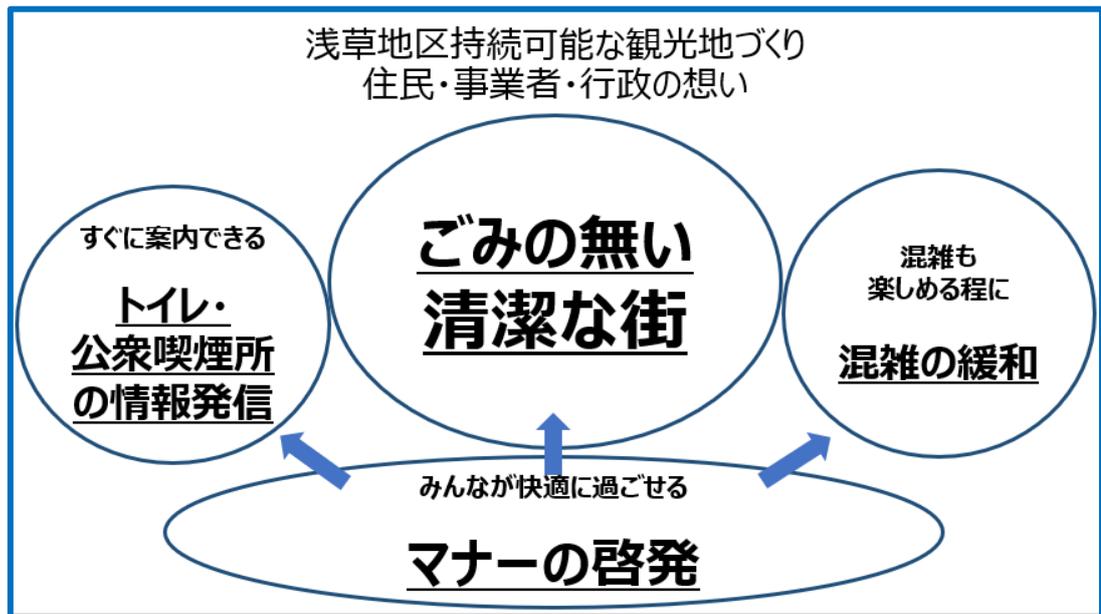
#### (1) 構成団体

雷門地区町会連合会、浅草商店連合会、浅草観光連盟、浅草小学校PTA

#### (2) アンケート結果 別紙 1 参照

#### (3) 検討結果

協議会を4回(準備会含む)開催し、協議会での検討内容やアンケート結果等を踏まえ課題を精査して持続可能な観光地づくりの方向性と今年度内の取組内容を取りまとめた。



### 3 実施予定事業

#### (1) ごみ対策

##### ①ごみ組成調査

浅草地区内における道路等に投棄されたごみの状況を調べ、ごみの多い場所や量、組成を明確にすることで、今後の観光地におけるポイ捨てごみ対策の基礎資料とする。

##### ②ポイ捨て禁止啓発等活動

浅草地区内に啓発員を巡回させ、ごみを回収するとともに、ごみ投棄者への注意指導や啓発物品の配布、公衆喫煙所や公衆トイレ等の案内を行う。

##### ③ごみ拾いイベントの開催

住民及び来街者など一般の方を対象に楽しみながらごみを拾うイベントを開催する。

#### (2) トイレ・公衆喫煙所対策

##### ①便利マップ(ウェブページ)と二次元コードの作成

来街者が利用できる区内の公衆喫煙所や公衆トイレ、給水所の位置等を一元化したウェブページを作成し、ページに遷移する二次元コードをエリア内の店舗等に配布する。

#### (3) マナー啓発

##### ①マナー啓発リーフレット等作成

外国人観光客向けマナー啓発リーフレット、持ち帰り用ごみ袋を作成し配布する。

#### (4) 混雑緩和対策

##### ①店頭行列緩和実験

店頭行列が近隣店舗へ迷惑をかけ歩行の妨げにもなっている店舗に、番号案内システムを導入し、店頭で待つ観光客を減らすことで、良好な歩行空間を確保する。

##### ②手ぶら観光の推進

スーツケース等の手荷物預かり、配送サービスなどの民間事業者と連携して、区内の宿泊施設や商業施設等への普及を図り、手ぶら観光を推進させる。

#### (5) その他

##### ①全体デザイン

本事業で使用する共通デザインを作成し、事業全体の統一感と機運の醸成を図る。

### 4 補正予算額(案)

歳出 55,800千円

歳入 37,200千円

### 5 事業スケジュール

令和6年9月～10月

公募型プロポーザル等による委託事業者選定

令和6年11月～令和7年2月

事業実施

## 浅草地区持続可能な観光地づくり協議会 アンケート集計結果

## (1)住民視点からの課題

順位	設問No.	設問	そう思う、 ややそう思う 合計
1位	5	ゴミのポイ捨てが増えた	81.0%
2位	12	観光客向けの店が増え、昔ながらの店が減った	77.6%
3位	1	日常生活で使用する街路が混雑している	72.9%
4位	13	気軽に入れる飲食店や憩いの場が減った	63.8%
5位	7	喫煙マナーを守っていない観光客を見かける	62.7%
6位	8	スーツケースの観光客が通行の妨げになっている	62.1%
7位	3	客待ち、客引きが通行の妨げになっている	61.7%
8位	14	地域に根差す文化や伝統の価値が損なわれている	56.2%
9位	11	観光客向けの施設や看板が増え、まちの景観が損なわれている	50.0%
10位	6	マナーの悪い観光客により不快な思いをした	47.5%

## (2)事業者視点からの課題

順位	設問No.	設問	そう思う、 ややそう思う 合計
1位	8	ゴミ箱を設置していない店や、客にゴミの捨て方を案内していないテイクアウト店がある	86.3%
2位	14	観光客が利用できるトイレが少ない	82.0%
3位	13	公衆喫煙所の周知を強化してほしい	81.0%
4位	12	観光客へのマナー啓発が徹底されていない	80.0%
5位	5	人が集中し混雑するのは特定のエリア・観光スポットだけだ	78.9%
6位	9	歩き食べや習慣の違いにより店内(トイレ等を含む)が汚されてしまう	75.0%
7位	6	特定の曜日や時間帯の混雑が激しい	60.6%
8位	2	外国語での意思疎通ができず、伝えたいことが伝わらない	59.3%
9位	10	商品を触られたり、乱雑に扱われることで、商品がダメージを受ける	53.2%
10位	11	他店の行列が自店の前にまで及ぶ	50.0%

※令和6年4月、「浅草地区持続可能な観光地づくり協議会」構成団体を通じて依頼した浅草地域の住民・事業者 61名の回答を集計したもの。